

詳細 第3回建設



ランナーフォーラム

最終回

第3回建設トップランナーフォーラムの締めくくりとして行われた総括講演で、同フォーラム顧問の米田雅子慶応大学教授は、「このフォーラムの狙いの一つは、建設業が地域を守り、地域を支え、『こんなに頑張っているんだ』というところを多くの人に分かってもらうことだ」と開催の意義をあらためて強調した。さらに、地方で頑張る建設関連企業に対して

●総括講演 米田雅子慶応大学教授



「もう少し国から手を差し伸べてもらえるよう、さら

「23道府県から熱血自治体

2日間にわたって行われ

た事例発表については、今

その上で、「結局、最後

きた。頑張る人が報われ

と締めくくった。

よりどころは実のある技術

（建設経済新聞社＝丹波城和）

日本には建設業が必要です

回の発表はクールアースを
目指してというサブタイト
ルで行った。結局のところ
食料やエネルギー、資源、
国土、地域といった国のベ
ースとなるものを、建設業
のみならず一生懸命支え
ていることが本当によく分
かった」と話した。
また、国際的な問題にな
っている投機による原油や
穀物価格などの高騰につい
て触れ、「投機によって資
源の値段が上っている。今
はとても大変な時期だが、
いざバブルははじけると
思う。ただバブルがはじけ
ても、新価格体系へ移行し
ていく可能性は捨て切れな
い」と、先行して行われた
渡辺喜美金融・行革担当大
臣(当時)の特別講演も引
き合いに出し、原油などの
資源については一定水準の
価格の底上げになる可能性
を示唆した。

「建設業は、その技術を持っていて、
が一番大切なこと。ここに
集まったみなさんは、それ
をどうにかつうくても手放
さない人だから、長い
目で見れば必ず『ほんとう
にやっつけて良かった』と
いう時が来ると確信してい
る。どんなにつらくても、
今やっていることを手放さ
ず、日本の国土や森林や食
料を守りながら建設業を続
け、この国を守っていただ
きたい。頑張る人が報われ
る世界が絶対やって来る」と
締めくくった。